

競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により行う。

2022年1月1日にWA競技規則TR5の改正と、新たに「競技用靴に関する規定」が導入されたことに基づき、靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長及び競技役員はいつでもシューズチェックをすることができ、競技者はその指示に従わなければならない。明らかに規則・規定違反のシューズや疑わしいシューズは、チェックや回収の対象になることがある。競技後にシューズの違反が認められた場合は、審判長が「失格」と判断し、記録が取り消される場合がある。(スパイクピンのチェックは1次招集時に行う。)

○靴底の厚さに関する規定(TR5.13.3)表

種目	靴底最大の厚さ (TR5.5TR5.13.3)	要件・備考
フィールド種目(除:三段跳)	20 mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25 mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m未満の種目)	20 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m以上の種目)	25 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 (競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは40mm)
競技場内で行う競歩	40 mm	
道路競技(競走・競歩)	40 mm	

※フィールド競技用靴における「靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。」の規定については、適用除外とするが、その他の規定(靴底最大の厚さ)は、遵守すること。

2. 競技場への入場について

○入場制限を緩和し、部員の人数・時間の制限を設けない。但し、入場は部員・顧問(監督・コーチ)・保護者・役員のみとし、以下の要領で、入場者の把握・管理を行う。

(1) 部員は、顧問が作成した「部員登録証」を入場の際に提示する方式とする。最初の入場のみ、1F 正面入口とし、再入場・退場は、マラソングートのみとする。

※「部員登録証」は、顧問宛にデータ送信したものを各校が作成し、今年度の大会を通じて使用すること。

(2) 顧問・監督・コーチは「日本陸連公認審判員証」または「顧問証」を入場の際に提示すること。「顧問証」は大会時に発行するが、以降の大会にも使用するので保管すること。

(3) 「体調管理チェックシート」の個人ごとの提出は不要とするが、顧問が集約・管理をし、それをもとに「大会入場者一覧表」を作成し、代表者が出場初日の学校受付時に提出(1F エントランス)すること。2日にわたる本大会の場合も入場者を1枚の「一覧表」にまとめて作成すること。大会総務の指示により、「体調管理チェックシート」の提出を求められることがあるので、各日の入場者については、顧問で把握・管理すること。

○大会来場後2週間以内に発熱等の体調不良が発現した場合は、顧問へ連絡し、顧問は速やかに地区主任へ報告すること。

3. 練習について

(1) 練習はバックスタンド後方(東側)の練習走路を使用すること。走る方向は北から南の一方通行とし、逆走は禁止する。個人のハードル等は持ち込まないこと。また、ゴムチューブ等を使ったスピード練習は禁止する

(2) 競技会開始前のトラックを利用しての練習は、競技開始の30分前までとする。

[ホームストレート・バックストレート](ジョグはレーン外)

- ・2～5 レーン=コーナーからのスプリント練習 ・6～9 レーン=直線からのからのスプリント練習
- ※順番待ち等は密を避けるように距離を保って待つこと。
- (3) 競技場内、公園内でのリレー練習は一切認めない。
- (4) ハードル種目の練習は、競技開始前にハードル設置後に行うこと。
- (5) 競技場内はメディシンボールなど、物を投げる練習は禁止とする。
- (6) 走高跳、走幅跳、三段跳は準備が整った後、競技役員の指示で練習してもよい。

4. 招集について

※招集所へのスマートフォン・携帯電話等の通信機器の持ち込みは禁止する。

※下記の時間帯に招集を完了できなかった場合は出場できない。

- (1) 一次招集（室内練習場）
 - ・トラック種目：競技開始時刻の 60 分前開始 30 分前完了
 - ・フィールド種目：競技開始時刻の 90 分前開始 60 分前完了（棒高跳のみ 120 分前開始 90 分前完了）
 - ・上半身競技服装(アスリートビブスを付けていること)になり、スパイクチェックを受け、腰ナンバーを受け取る。

※同一日に他種目や準決勝・決勝に出場する場合、種目ごと・ラウンドごとに一次招集を受けること。

※同時時間帯に競技が行われる場合には、多種目同時出場届を一次招集開始までに招集所へ提出する。
なお、一・二次招集ともに代理をたてる必要はない。
- (2) 二次招集（現地）
 - ・トラック種目：競技開始時刻の 15 分前開始 10 分前完了
 - ・フィールド種目：競技開始時刻の 50 分前開始 40 分前完了（棒高跳のみ 70 分前開始 60 分前完了）
- (3) リレーについて
 - ・オーダー用紙の提出締め切りは、第 1 組の一次招集完了時刻の 1 時間前までに競技者係へ提出。
 - ・リレーの一次招集は 4 人揃って受け、他種目に出場している時は、多種目同時出場届を提出すること。
- (4) やむを得ず欠場する場合は、プログラムにある欠場届を競技者係へ提出すること。

5. 競技について

- (1) アスリートビブスは必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。
トラック種目では、腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。なお、4×400mリレーの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつけること。
- (2) スパイクのピンは、本数は11本以内とし、9mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。また、スパイクの直径は先端近く（少なくとも長さの半分）で、4mm 四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (3) トラック種目では、すべてタイムレースとする。
- (4) 短距離競走は、フィニッシュラインを過ぎてもレーンに沿って走ること。
- (5) 競技エリア内に通信機器（携帯電話等）やビデオ撮影機器（タブレット等）を持ち込んではない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。
フィールド競技中に競技者が、それ以前の試技の映像を、録画再生機器などをスタンドからの手渡しや吊り下げる等により競技エリア内に持ち込むことは認めない。
- (6) 集団での声援（応援）及び不正な助言行動は自粛すること。
- (7) フィールド種目について
 - ① トップ 8 を行う。
 - ② 跳躍種目はセクションラインを設ける（但し、走幅跳・三段跳は、1 回は全員計測）。
走高跳【男子】 1m50 【女子】 1m25 走幅跳【男子】 5m20 【女子】 4m20
三段跳【男子】 11m00 【女子】 9m00
 - ③ 走幅跳・三段跳は 1 組（メインスタンド前トラック側）、2 組（メインスタンド側）で行う。
走高跳は第一曲走路内側のメインスタンド側を 1 組、バックスタンド側を 2 組とする。棒高跳は第二曲走路外側の北ピットで行う。

④バーの上げ方は下記のとおりとする。※走高跳・棒高跳とも練習の高さは当日現地で決定する。

男 走高跳	現場判断 練	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	以降 3cm
女 走高跳	現場判断 練	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	以降 3cm	
男 棒高跳	現場判断 練	2m80	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	以降 10cm
女 棒高跳	現場判断 練	2m00	以降 10cm						

⑤砲丸投を除き、投てき種目の計測は、ベスト記録のみを計測する。

⑥投てき競技や棒高跳びの滑り止めについては、主催者は準備しないので、個人で持参すること。

(8) フィールド競技の試技制限時間(単独種目)

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技※	2分	3分	2分

※4人以上または各競技者の最初の競技

※走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で、同一の高さの時のみ適用する。

6. やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。やりの検定は、競技開始時刻の90分前より30分間、用器具庫(メインスタンド下南側)で行う。

7. 表彰は男女別団体1～6位 個人1～6位までは賞状を授与する。

8. 競技場の使用について

(1) 競技者・付添等の関係者は指定された出入口から入退場すること。

(2) 声を出しての応援は禁止する。

(3) 横断幕、ノボリの設置はすべて禁止する。

(4) 以下の箇所にはテントを設置しないこと。

①南北の芝スタンド(土盛スタンド)の中段より下

②メインスタンド中段通路より下側および記者席からフィニッシュ側すべてのエリア

※テントを設置する際に、ロープ等が通路にかからないようにすること。

(5) 使用した場所は各学校で責任を持って清掃し、ゴミ等は必ず持ち帰ること。

(6) トラック、フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用は禁止する。

(7) 更衣室は10名以内で更衣のみの利用とする。マスクを着用し会話しないこと。使用時間は1人5分以内とする。また、清潔に使用し私物を置かないこと。

9. その他

(1) 顧問の受付がない学校の競技者の出場は認めない。

(2) プログラムは、配布しないので各校で印刷準備すること。

(3) 競技中に起こった怪我は、本部の医務室で応急処置のみを行う。

(4) 記録は、電光掲示板およびWEB ページで確認すること。(記録ボードは設置しない)

(5) 全ての競技者は、競技終了後に手洗い・消毒を行ってから退場すること。

(6) 盗難の発生や忘れ物に注意し、荷物等の管理は各校で十分注意すること。

(7) 当日はゴミ箱を撤去しているので、ゴミはすべて各自持ち帰ること。

(8) プログラム記載の個人情報(氏名、学校名など)および大会結果は、大阪陸上競技協会・大阪高体連陸上競技専門部3・4地区WEBサイトに記載されるが、本大会関係以外には一切使用しません。